



平成 28 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋
(JASDAQ・コード番号 : 2777)
問合せ先 取締役 執行役員管理部長 小林 要介
電 話 03 - 6439 - 1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成28年2月12日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 6 月 30 日)連結業績予想の修正

単位：百万円

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 親会社株主に 帰属する 四半期純利益 | 1 株当たり 四半期純利益 |
|--|-------|------|------|--------------------------|------------------|
| | | | | | 円 銭 |
| 前回発表予想 (A) | 5,030 | 200 | 170 | 90 | 23 72 |
| 今回発表予想 (B) | 4,644 | 56 | 64 | 21 | 5 77 |
| 増減額 (B) - (A) | 386 | 144 | 106 | 111 | 29 49 |
| 増減率 (%) | 7.7 | 72.0 | 62.4 | - | - |
| (ご参考) 前年同期実績 平成 27 年 12 月期第 2 四半期実績 | 4,472 | 78 | 85 | 50 | 13 28 |

2. 業績予想の修正理由

当第 2 四半期累計期間において、カッシーナ・イクスシー法人営業部門の売上高が想定を下回ったこと、また連結子会社であるコンランショップ・ジャパンの売上回復が遅れていることを主な要因として、売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。また営業利益につきましては、カッシーナ・イクスシーにおいて工場の原価低減や輸入商品原価の円高効果によって粗利率が予想を上回り、また販売費及び一般管理費の効率的な使用に努めましたが、売上高の下方修正分をカバーすることができず、営業利益も前回発表予想を下回る見込みです。

営業外損益及び特別損益につきましては、おおむね予想の範囲内となりました結果、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても営業利益の予想修正と同様の理由により、前回発表予想を修正するものであります。

3. 今後の見通し

平成 28 年 12 月期通期業績予想につきましては、カッシーナ・イクスシー法人営業部門において第 3 四半期以降の受注活動を強化しており、また直営各店の受注も順調に積みあがってきていること、またコンランショップ・ジャパンにおいて基幹店である新宿本店、丸の内店において家具を中心としたオリジナル商品の積極投入によって売上拡大を図る予定であることから、前回発表予想である売上高 10,500 百万円、営業利益 700 百万円、経常利益 640 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 460 百万円を修正いたしません。

4. その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上